

平成30年度入学式 **実り多き三年間に**

希望に満ちた春を迎える新1年より一言

新入生研修&対面式

学校設定科目「キャリアサポート」について

鳥根県体育協会強化指定校

柔道 全国高校選手権大会・中国高校新人大会出場

卓球 全国選抜大会 女子団体 ベスト16強
中国高等学校卓球選手権大会鳥根県予選大会
女子バスケ 中国大会県予選 準優勝／

先生紹介コーナー

吹奏楽部

廣兼伸俊先生・稲垣早紀先生

体験入学 体験しちゃお明誠!／特進コース 進路決定

通信制課程ニュース／IAC 地域で新たな活動に参加

福祉科だより 介護福祉士国家試験 合格率86%



明誠高校
マスコットキャラクター
キューブ君

vol.49

発行／明誠高等学校

2018年(平成30年)5月18日(金曜日) 第49号

<http://www.meisei-masuda.ed.jp>



COMME ÇA DU MODE
School Label

モデル／井口 彩実さん(高津中)

平成30年度

明誠高等学校入学式

実り多き三年間に

4月10日、明誠高等学校入学式が挙行された。爽やかな青空のもと、124名の新入生が、明誠高校の門をくぐった。

永島一忠校長は、「人こそが社会の財産であり、明誠高校では、『時代の変化に対応できる真に役立つ人材の育成』という建学の精神のもとに、教育活動を教職員全員で行っていく。」

皆さんの卒業年度より大学入学共通テストが実施される。何かを学ぶだけではなく、何が出来るようになるかという知識を活用する力が求められる。経済や社会のかつてないほどの急速な変化、超少子高齢化による生産労働人口の減少に伴い、国力が大きく衰退しかねない事態にある現代、教育改革は必然ともいえる。変えてはならないこともあることを見失うことなく、変わることへの意思決定をして3年間を実り多きものにしていただきたい。」と式辞を述べた。

新入生代表宣誓では、古川未夢羽さん(高津中)が、これから始まる高校生活への期待と抱負を述べた。

入学式を終え、中庭ではにぎやかに記念撮影をする姿が見られた。充実した3年間になることを願う。



入学式会場の様子

希望に満ちた春を迎える新1年より一言

高校生活で頑張りたいことは、部活動と勉強の両立です。部活動では、しっかり成績が残せるように日々の練習に励み、また、勉強では、自分の将来のことを考え、今努力する時だと思っている、毎日の積み重ねを大事にしていきたいと思っています。

佐々木麻由乃(益田東中)
勉強と部活動の両立をがんばりたいと思っています。特に部活動は全国高校駅伝出場を目標に日々の練習を頑張りたいと思っています。

勝部 遼(出雲三中)
大好きなバスケットボールに打ち込める素晴らしい環境が、明誠高校にはあると思います。勉強との両立は大変だと思いますが、希望の大学に行けるように日々の学習にも努力し続けたいと思います。

須山 優華(横田中)
勉強の面と部活動の面を両立していきたいのです。勉強面では特に数学が苦手なので克服していきたいと思っています。部活動の方は軽音楽部に入学しました。まだまだ分からないことばかりですが、先輩の皆さんの背中を追いかけて行きたいと思っています。

大石 愛(高津中)
部活動では中国大会出場、学業では国公立大学合格を目指して、1日1日を大切に、悔いの残らない高校生活を送りたいと思っています。

野上 萌士(益田中)
明誠高校では勉強はもちろん、部活動の方も積極的に取り組んでいきたいと思っています。魅力的な部活動が多々あり、まだどの部に入るかは決めかねています。文武両道を目指し自分を成長させていけるよう頑張ります。

柳 希和(田万川中)
勉強と部活動の両立を目指しつつ、新しい友人を多く作り楽しい高校生活を送れるよう、日々精進していきたいです。

永井 颯太(浜田一中)
新しい環境の中で自分の可能性を広げていきたいと思っています。これから3年間でどんなことが待ち受けているのか楽しみです。

河野 雅也(美都中)
専門知識や福祉のルールを覚え、将来は立派な介護福祉士になりたいです。そのために日々授業に集中して取り組みたいと思います。

入澤 優弥(匹見中)
今年度より、2年生普通科一般コースにおいて、「キャリアサポート」という明誠高校独自の科目が始まりました。少子高齢化、高度情報化、グローバル化等様々な要因により社会が大きく変わろうとしていく中で、大学教育も高校教育も改革に動き出している。この科目は、これからの社会を生徒達がよりよく生きていくために必要な力を身に付ける時間として設定された科目である。2年次、「情報機器活用」の単元では、プレゼンの基本的な知識技能を習得したり、「自分を知る」の単元では、力場場を活用して人の考えを聞き、自身の考えをまとめ主体的に表現する学習をしたりする。更に、「地域を知る」の単元では、税を題材にしたグループワークや益田市の食材を使っ



新入生代表のあいさつをする池田一斗くん

新入生研修&対面式

4月11日、いよいよ本格的に始まる高校生活に向けての新入生研修が、本校を会場に行われた。この研修は、新入生がそれぞれの目的や目標に向けて、3年間学ぶために良いスタートを切れるよう、様々な角度からプログラムされており、午前中は、学年部より、中学生と高校生との違いや挨拶指導、教務部より、授業への取り組み方、単位取得や評価方法、進路指導部より、進路決定に向けての心がけや取り組みなどの研修を行った。午後からはクラスごとに校内を見学し、各施設の説明を受け、仲間づくりの人權研修会で、自己紹介ゲームをしながから、初めて話す生徒同士で交流し、楽しいひと時を過ごした。最後に明日から始まる清掃指導

を受け、新入生研修を終えた。新入生の皆さんの真剣に話を聞く態度やメモを取る姿が見られるなど、有意義な研修が行われた。



先輩たちと初めて顔を合わせる新入生たち

学校設定科目「キャリアサポート」について

今年度より、2年生普通科一般コースにおいて、「キャリアサポート」という明誠高校独自の科目が始まりました。少子高齢化、高度情報化、グローバル化等様々な要因により社会が大きく変わろうとしていく中で、大学教育も高校教育も改革に動き出している。この科目は、これからの社会を生徒達がよりよく生きていくために必要な力を身に付ける時間として設定された科目である。2年次、「情報機器活用」の単元では、プレゼンの基本的な知識技能を習得したり、「自分を知る」の単元では、力場場を活用して人の考えを聞き、自身の考えをまとめ主体的に表現する学習をしたりする。更に、「地域を知る」の単元では、税を題材にしたグループワークや益田市の食材を使っ

た調理実習を通して協働することを学んだり、「世界を知る」の単元では、講話を聴き、意見交換会を実施し、世界観の中で自分を見つめ直す学習をする。「まとめ」では、1年間の学習で感じたことや考えたことをまとめ、パワーポイントを利用して発表する。3年次には、「コミュニケーション能力を高める研修を経て、生徒自らが考えた社会貢献活動を体験し、主体的に行動することや課題意識を持つことの大切さを学んでいく。

た調理実習を通して協働することを学んだり、「世界を知る」の単元では、講話を聴き、意見交換会を実施し、世界観の中で自分を見つめ直す学習をする。「まとめ」では、1年間の学習で感じたことや考えたことをまとめ、パワーポイントを利用して発表する。3年次には、「コミュニケーション能力を高める研修を経て、生徒自らが考えた社会貢献活動を体験し、主体的に行動することや課題意識を持つことの大切さを学んでいく。

全国選抜大会 女子団体 ベスト16強! 中国高等学校卓球選手権大会島根県予選大会

■平成30年3月25日～28日まで
福井県福井市の福井県営体育館
で平成29年度第45回全国高等学校
卓球選手権大会が開催された。
女子学校対抗の部において中国
地区の厳しい予選を勝ち抜き14
年連続18回目の出場となった。

予選リーグ
明誠 3対1 真岡女子(栃木)
明誠 3対1 奈良女子(奈良)
明誠 3対2 岩国商業(山口)
◎決勝トーナメント1回戦
明誠 2対3 山陽女子(岡山)



アドバイスを送る岸総監督

■平成30年4月27日～29日
カミアリーナで第65回中国高
等学校卓球選手権大会島根県
予選大会が開催された。女子学
校対抗ではすべての試合を3
対0のスコアで圧勝。15年連続
23回目の優勝を飾った。男子は
新人戦からポジションを上げ
3位で予選を通過した。また個
人戦でも躍動、女子シングルス
では萱嶋沙希さんの優勝以下
ベスト8を久々に独占、ベスト
16にはなんと14名が入った。ま
たダブルスでも萱嶋沙希・河野
風紗組が優勝、ベスト4を独占
した。中国大会は6月に山口県
で開催される。優勝を目指して
さらに練習の量も質も上げて
いくことだろう。

主将 萱嶋沙希(益田東中③)
野村優香(益田中③)
池田未来(近大福山中③)
河野風紗(玖珂中②)
山本愛(玖珂中②)
梅森由萌香(玖珂中②)
郡山七海(就実中②)

◎女子学校対抗優勝

萱嶋沙希(益田東中③)
池田未来(近大福山中③)
野村優香(益田中③)
河野風紗(玖珂中②)
山本愛(玖珂中②)
郡山七海(就実中②)
岡本優莉奈(玖珂中②)
古川未夢羽(高津中①)
◎男子学校対抗3位

難波金太郎(安佐中③)
原田晴輝(浜田第三中③)
長田和也(浜田第一中③)
村上拓巳(日原中③)
安原迅(大田第二中②)



(右) 単複に活躍の萱嶋さん
(左) 2勝の活躍の池田さん



学校対抗15連覇 総勢19名は県内最多



(右) シングルス優勝の萱嶋さん
(左) ダブルス優勝の萱嶋・河野組

■日本武道館で高校選手権が
行われた。1日目の個人戦で
は、上野さんが出場。1回戦
は、二坂(新庄東・山形)と対
戦。果敢に攻めたものの、小内
刈りを掛けられ、技ありを奪わ
れる。そのまま、時間が経過
し、優勢負け。2日目の団体戦
では、2回戦で、国分中央(鹿
児島)と対戦。先鋒
の西村さんは、身長
差で相手に組手を
圧倒され、指導3
を受け、反則負け
の中堅の出水さんは、
積極的な攻めを見
せるが、ポイントが
奪えず、引き分け。
得意の寝技に持ち
込むものの抑え込
むことができなかった。
大将の上野さん
は、昨日のくやし
さを晴らすため、
攻勢に出た。しか
し、大外刈りを掛け
たところを返され、
一本負け。全国での



インターハイ出場を目指す柔道部員たち

78級級	上野紗依(小郡中) 優勝
70級級	池田雛多(高陽中) 2位
63級級	出水咲弥(宇津中) 優勝
57級級	三浦芽瑠(鎌手中) 優勝
52級級	山口康花(萩西中) 3位
48級級	石橋亜依(益田中) 3位
43級級	西村亜矢(鶴山中) 2位
39級級	佐々木湧太(江津中) 4位
35級級	古川竜大(出雲中) 3位
31級級	安達竜樹(松原中) 2位
27級級	石橋弘希(萩東中) 4位
23級級	門脇力一(西郷中) 3位

◎個人

男子 優勝(3年連続)
女子 優勝(3年連続)

4月14・15
日、20・21日と
2週にわたって
中国選手権大会
県1次・2次予
選が行われた。
2次予選では県
内大会で唯一
リーグ戦が採用
されており、2
勝2敗で3チ
ームが並ぶ混戦と
なったが、当該
校間の得失点差
により、明誠女
子がノーシード
から2位に這い
上がり、岡山市
で行われる中国
大会出場を決め
た。昨冬の地区
新人戦で競り負けてノーシード
となり、怪我人も多く県新人大
会でも苦しい戦いが続いたが、
冬の鍛錬期に個々が気持ちを切
らさず努力を重ねてきたことが
花咲いた瞬間だったように思
う。公式戦で勝つ経験ができ、
チームとしても自信がついてき
た。この経験を活かし、中国大



新入生を迎え活気付くチーム

【結果】	2勝2敗
明誠対	松江商業 62-103
明誠対	松江農林 80-73
明誠対	出雲北陵 71-78
明誠対	松江東 74-57
【ベスト5賞】	
関口舞奈(3年)	益田中出身

全国高校選手権大会出場 中国高校新人大会出場



体育協会強化指定証

4月17日に島根県体育協会
から下岡専務理事様、福岡指導
主任様、教育庁保健体育課から
吉田指導主事様が来校され、
平成30年度強化指定校に指定さ
れた卓球部女子、柔道部女子に
指定証が交付された。県内強豪
校に対して県
外遠征と学校
に招いての強
化合宿の費用
を補助してい
ただける制度
で、卓球部は
神戸松蔭女子
学院大学・立
命館大学・朝

日大学などへの遠征、淑徳大学・
横浜隼人高校を招聘、柔道部は
全国の強豪校が集まる福岡への
遠征、岡山商科大学・広陵高校
の招聘を予定している。有効に
活用しレベルアップを進めて全
国での活躍につなげて欲しい。

先生紹介コーナー Teacher Introduction 吹奏楽部

今年度より吹奏楽部指導
者として廣兼伸俊先生をお
迎えし、昨年度より音楽の
授業を担当している稲垣早
紀先生と2人体制での指導
がスタートした。廣兼先生
は益田市内の中学校で長年
ご勤務をされておられ、
平成28年度、文部科学大臣
優秀教職員表彰を受賞され
た。さらに先生は100
人の吹奏楽の指揮者として
も、劇団「くちぶえ」の音
楽監督としても、ミュー
ジカル「今、歩き出す」
の作曲及び音楽監督として
も、この業界では知らない
人がいないほどの有名人で
ある。一方稲垣先生は小学



(左) 廣兼伸俊先生 (右) 稲垣早紀先生

校のころからミュージカル
「くちぶえ」に出場してお
り、中学校時代は3年間、
廣兼先生に吹奏楽の指導を
受けた。さらに出身大学
(エリザベート音楽大学)
も同じという真正正銘の師
弟関係である。息もひた
りのお二人。このような先

生方をお迎えでき、本校の
吹奏楽部は大変活気づいて
いる。ゴールデンウィーク
には美都温泉祭りで演奏を
し、来場された方々に喜ん
でいただいた。今後はコン
クールに向けて本格的に練
習に励んでいく。

